

# 環境マネジメントシステムの推進

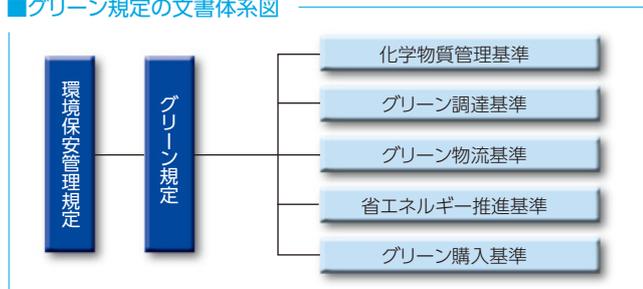
荒川化学グループでは、「環境保安基本方針」、「環境保安行動指針」、「環境保安管理規定」および「グリーン規定」をもとに各事業所で計画を立て環境に配慮した活動を実施しています。

## グリーン規定

当社では「グリーン」を「地球にやさしい状態」と定義し、「化学物質の適切な管理」「大気、水域、土壌汚染の防止」「使用エネルギーおよび温暖化ガス排出の削減」「3R(リデュース<削減>、リユース<再使用>、リサイクル<再資源化>)の実施」「廃棄物の適正管理」などを行い、環境負荷低減を目的として掲げ、活動を進めています。

また、目的を達成するための各部署における責務を明確にし、全社的に取り組みを推進、さらに、化学物質管理、グリーン調達、グリーン物流、省エネルギー、グリーン購入の5分野に分けて下位文書(基準)を作成し、具体的な取り組み内容を明確にしています。

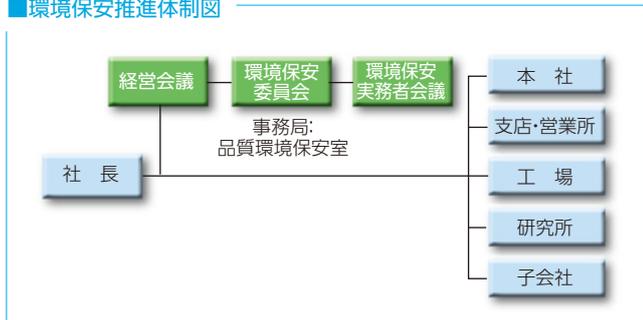
### ■グリーン規定の文書体系図



## 環境保安推進体制

荒川化学グループでは、環境・保安担当役員が委員長を務める環境保安委員会を最上位とする推進体制をとって、全社一丸となって環境と保安に取り組んでいます。

### ■環境保安推進体制図



## 生物多様性の確保の取り組み

2011年4月、環境保安行動指針の中に「生物多様性の確保」への寄与を盛り込み、第一歩として、各事業所の緑地の保全につき、地域の植生を配慮して、外来種の侵入を防ぐことを進めています。また、本報告書ではFSC認証紙を使用しており、この冊子を配布することで従業員の生物多様性の啓発の一助としています。

## 環境マネジメントシステム導入状況

荒川化学グループにおけるISO14001あるいは「エコアクション21※」の認証取得状況は以下のとおりです。

※環境省のガイドラインに基づき一般財団法人 持続性推進機構が認定。

### 認証取得状況

事業所名	登録番号	認証取得日	審査実施日
水島工場	JQA-EM0369	1999年3月12日	2013年2月6-7日
富士工場	JQA-EM1427	2001年3月16日	2013年1月23-25日
小名浜工場	JQA-EM1577	2001年5月18日	2012年5月24-25日
大阪工場・研究所	JQA-EM1590	2001年5月25日	2012年5月15-16日
ベルノックス	JQA-EM3719	2004年1月30日	2012年10月23-26日
高圧化学	エコアクション21 0002736	2008年8月1日	2012年6月6、8日

### (海外子会社)

事業所名	登録番号	認証取得日	審査実施日
台湾荒川化学	TW07/0113EM	2007年10月17日	2012年9月17日
南通荒川化学	00112E22127R1S/ 3200	2009年10月28日	2012年8月13-14日

※釧路・徳島・鶴崎の各工場、本社、支店、営業所については荒川版環境マネジメントシステムを構築し、運用しています。

## 再生可能エネルギー利用の推進

2012年度は、省エネルギーや節電の取り組みを推進するとともに、再生可能エネルギーである太陽光の積極的な利用として、大阪工場の倉庫建屋に太陽光パネルを設置して、太陽光発電設備を導入しました。

発電の状況は、事務所入口の液晶ディスプレイで確認できるようになっており、従業員の環境意識の向上にも役立っています。



## Voice

### 大阪工場に太陽光パネルを導入



大阪工場 保安課  
竹田 明人

2012年12月、大阪工場の倉庫建屋に56枚の太陽光パネル(面積74m<sup>2</sup>、発電能力10kW、年間発電量11,241kWh)を設置。不況の影響で導入計画が一時厳しくなりましたが、粘り強く計画を立て直した結果、環境保全の取り組みを重視する経営層からの支持と公的な補助金の支給決定も後押しとなり、早期実現となりました。

事務所エントランスには発電状況がリアルタイムで見える液晶ディスプレイがあり、従業員やご来社されるお客様の関心を集めています。発電した電力は事務所内の電灯や社内LANの端末、PCの電源として使用しています。